



## 入学してからコースを選べる魅力

高校では吹奏楽部の活動に注力していました。2年の冬にアンサンブルコンテストに挑戦し、地区大会を勝ち上がり、中部地方大会では3位に入賞することがいい思い出です。活動に打ち込むかわら、勉強はコツコツと進めていました。進路選択時に、日本史や考古学に興味がありました。しかし、受験前に分野を絞りこんでしまうことに抵抗がありました。

富山大学の人文学部であれば入学後にコース分けがあるので、まだ一つの分野に絞れない自分に合っていると思いました。地元の大学に進学したいという思いもあり、富山大学人文学部を受験し、進学しました。

## 第2言語の中国語との出会い

高校生の時に、好きなアイドルグループがあり、そこに中国出身のメンバーがいました。そのことがきっかけで「大学での第2言語は中国語にしよう」と決めていました。大学での中国語の文法もコミュニケーションも授業が楽しく、先生方も魅力的でした。中国語の言語文化の分野に惹かれました。コース選択は当初考えていた歴史や考古学ではなく、中国言語文化コースを選択しました。

## 大学生訪問団として中国遼寧省へ

授業で中国の言語や文化に触れ、関心が高まってきました。富山県の遼寧省大学生訪問団に応募し、現地へ行く機会を得ました。中国語を話す環境に身を置きたいと思い、5日間行ってきました。現地では、中国語を聞き取ることも、話すことも非常に難しかったです。一緒に参加した学生の中には、聞き取れている人もいました。現時点の自分の中国語の実力を実感し、もっと頑張ろうと思うようになりました。

## 中国語スピーチコンテストに挑戦

私は特に中国語の発音に苦手意識があります。全日本中国語スピーチコンテストに参加することで苦手を克服したいと考えました。最初は指導いただいた先生から「何を言っているのかわからない」と言われてしまいました。練習に練習を重ね、コンテスト前日には先生からもお褒めの言葉をいただきました。本番は緊張しましたが、富山県大会の朗読部門（学生の部）で優勝することが出来ました。次の目標は、中国語で自分の意見を述べるスピーチ部門に挑戦すること、中国語検定4級の取得です。中国語検定は、大学卒業までに2級取得を目指しています。大学卒業後は、地方自治体などで国際交流に携わりたくと考えています。



## お世話になった高校の先生へ

高校時代は将来に対する不安が大きく、弱音を吐くことも多かったです。その時に励ましてくださった先生方のおかげで楽しい学生生活を送ることができています。時には心の支えとなる優しいお言葉をかけ、時には厳しい喝を入れてくださりありがとうございました。これからは自分のためだけでなく、人のために努力できる人になれるよう頑張ります。